

2023年11月30日

各位

三井住友信託銀行株式会社

東京ウェルネスインパクト投資事業有限責任組合への出資について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、虎ノ門インパクトキャピタル合同会社が運営する東京ウェルネスインパクト投資事業有限責任組合(以下「本ファンド」)に、有限責任組合(Limited Partnership)として出資しましたのでお知らせいたします。

本ファンドは、東京都の官民共同のソーシャルインパクト投資ファンド創設事業の一環として設立された、虎ノ門インパクトキャピタル合同会社(以下「TIC」)を運営事業者とする、ウェルネス領域に特化したベンチャーキャピタルファンドです。本ファンドでは、社会課題解決型のスタートアップに対して、事業目標達成に向けたIMM(Impact Measurement and Management)(※1)実践プロセスを通じたハンズオン支援を行うことで投資リターンを創出するとともに、課題解決実践者の創出やインパクト投資の普及を目指しています。

当社は本ファンドが掲げる、「インパクト投資を通じて社会課題解決の担い手増加を目指すとともに、インパクト投資の裾野拡大を志向する」というビジョンに共感し、インパクトエクイティ投資の一環として本ファンドへの出資を決定しました。

三井住友トラスト・グループは、「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」をパーパスとして定義し、「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に据え、社会課題の解決に貢献するインパクトエクイティ投資や、投資家への魅力的な投資機会の提供を推進しています。

当社は、引き続き幅広い社会課題に向き合い、その解決に向けた取り組みの支援を行ってまいります。

(※1)IMM(Impact Measurement and Management)

インパクト測定・マネジメントの略。インパクト投資において、社会的・環境的な問題解決に向けた目標(インパクト)を定め、その目標を達成するための戦略を策定し、運営・評価を行うこと。

【本ファンドの概要】

ファンド名称	東京ウェルネスインパクト投資事業有限責任組合
運用会社	虎ノ門インパクトキャピタル合同会社
投資領域	ウェルネス領域(健康、介護、医療、社会・経済)

以上